

しみずの教育 ちよつといい話

【令和元年11月号】

清水小学校

校長 高井正樹

森林組合の皆さんに学ぶ

10月17日(木)、5年生が清水町の林業を学びました。清水町森林組合の皆さんにご協力をいただき、町有林でカラマツの枝払いを体験し、その後、製材工場の見学をしました。枝払いでは、初めは慣れない鋸の使い方に苦戦していましたが、徐々に慣れてくると、次から次へと楽しみながら枝を払っていきました。製材工場では、丸太の皮を削り取ったり、切断したりする大型機械の大音量に驚かされましたが、運び込まれたカラマツが製材されていく工程を学ぶことができました。5年生は、新聞紙に加工されるチップを手に取り、木の香りや手触りを感じるなど、五感を働かせて町の産業を学ぶ貴重な機会になりました。



清水高校の皆さんに学ぶ



10月25日(金)、清水高校の生産技術系列(産業分野)で学ぶ皆さんが学校を訪れ、2年生の子どもたちに「木工教室」を開いてくれました。この体験学習は毎年行われているもので、高校生の皆さんが事前に作った部品を子どもたちと一緒に組み立て、温もりを感じる木のおもちゃを作るものです。高校生の皆さんは、子どもたちに寄り添い、声をかけながら、優しく丁寧に組み立て方を教えてくれました。2年生の子どもたちは、でき上がった車を動かしながら、とても嬉しそうにしていました。

清水中学校の皆さんに学ぶ

10月31日(木)、清水中学校の2年生2名が、職場体験学習で小学校を訪れました。6年生の各教室に入り、授業の様子を観察したり、丸付けなどの手伝いをしたりして、わずか一日でしたが、先生の仕事を体験しました。6年生の子どもたちにとっては、中学校の先輩と直接触れ合い、中学校の生活について教えてもらうことができました。

今回、来てもらったことで、6年生は半年後に入学する中学校生活のことを知るよい機会になりました。



リンゴの収穫体験

1～4年生がもと同窓会長さんのお宅でリンゴの収穫体験をさせていただきました。今年は豊作だそうで、庭先のいろいろな種類のリンゴの木は、赤や青の実をつけていました。子どもたちはリンゴの食べ比べをしたり、木から直接収穫させていただいたりしました。今年もありがとうございました。



盲導犬体験

10月11日(金)、6年生が盲導犬体験をしました。北海道盲導犬協会の方とPR犬(グレン)が来校しました。アイマスクを装着し、盲導犬を連れての歩行体験などを行いました。また、盲導犬を連れている方への声の掛け方や介助の仕方についても学びました。



秋の愛校日・おやじの会



10月5日(土)、秋の愛校日(環境整備作業)を行いました。天候があまり良くなかったため、外作業は花壇の整理のみとし、校舎内のガラス拭き作業を主に行いました。作業後は、PTA4役の方が朝早くから準備してくださったサツマイモが配られました。とても甘くほくほくしておいしかったです。

また、10月27日(日)の午後からはおやじの会の環境整備作業を行いました。今回は校地を囲む生垣と校舎南側の樹木の剪定を行いました。愛校日とおやじの会の環境整備作業により、気持ちよく子どもたちやお客様をお迎えできるようになりました。

作業に参加していただいた保護者の皆さん、児童の皆さんありがとうございました。



親子で両思いになれるコミュニケーション

10月3日(木)、参観日及びPTA研修会がありました。当日はたくさんのご参観をいた

だきありがとうございました。また、参観後のPTA研修会では、子育て心理学協会認定カウンセラーの鈴森あかりさんを講師に、「親子で両思いになれるコミュニケーション～子ども



もの個性を生かした子育て～」について講演とワークショップを行いました。研修会を終えて保護者、先生方全員の心がすっきり、笑顔になっていました。

(教頭 宮崎 哲)

清水中学校

校長 尾崎 俊明

2年「職場体験学習」

10月31日朝、少し緊張した面持ちの2年生は町内各事業所へ、『職場体験学習』に行きました。本校2年生は「総合的な学習の時間」のなかで、職場体験学習を行っています。この学習を通して、働くことや自己の進路について考える機会としたり、これからの学び方、生き方を一層意義ある充実したものにしたりすることをねらいとしています。事前学習では、情報の集め方、調べ方、まとめ方、そして発表する力を身に付けるべく様々な学習を通して、体験の準備をしました。



体験を終えた生徒から、「実際に働いて、普段気がつかない裏方の仕事の大切さを実感しました」「事業所の方から『働く』とは周りの人を楽にさせてあげることだと学びました」「周りの人とチームワークで作業をしたりすることを学びました」等々の感想があり、生徒たちは普段、学校での勉強では学ぶことのできないことをたくさん得

ることができました。コミュニケーションの大切さ、仕事のやりがい・厳しさ、職場でのチームワーク、挨拶の大切さ、お客様への心遣い、責任など、大切なことを感じ取ることができたようです。まだまだ成長過程で至らないことも多々ありますが、これからの清水を担う子どもたちが周りの人と協力して、自分の喜びを見つけ、素敵な社会人に成長することを願っています。これらは町内各事業所の皆様の協力なしではできなかったことです。ご協力に深く感謝申し上げます。

十勝子ども大会演劇・合唱

今年は新しくなった清水町文化ホールで開催された十勝子ども大会の演劇。教育委員会にバスを出していただき、1年生みんなで応援に行きました。監督のS先生の厳しい指導の下、文化祭後も練習を重ねました。当日はたくさんの観客の皆さんの前で立派に演じきりました。お客さんの反応もとっても良かったです。残念ながら最優秀賞は逃しましたが、優秀賞そして演技賞をいただきました。教育長様をはじめ多くの方々が応援に来てくださいました。ありがとうございました。



子ども大会の合唱でも『第九の町』清水の生徒として、2・3年生がとても良い表情で、「若人の歌」「時の旅人」「歓喜の歌」の3曲を披露しました。生まれ育ったこの清水の「第九」を今後も心を込めて歌ってきたいです。

（教頭 須藤 正博）

御影中学校

校長 塚原 雄 二

働くことの意義や大切さを学ぶ～2学年職業体験学習から

10月30日（水）に2学年の生徒が清水町内の各事業所で職場体験学習を行いました。体験する目的は、「働くことの意義や大切さ」を学ぶことです。自分の適性や長所を振り返り、礼儀作法や言葉遣い等、普段の学校生活を振り返ることができるようにすることもねらいの一つです。

生徒の皆さんは、仕事の楽しさ、難しさ等を感じながらも、とてもよい表情で体験学習を行うことができました。生徒のために学習の場の提供とご指導を頂いた清水町内の各事業所の皆様に心から感謝申し上げます。





【以下、清水町各受け入れ事業所と生徒の主な感想です。～一部抜粋～】

図書館	日本十進分類法の事がわかり、疑問に思っていた本の管理の仕方を知ることができました。
アイスアリーナ	清掃業務では、すべてのトイレや控室など、端から端まで一つ一つ小さな隙間まできれいにすること毎日毎日丁寧に清掃することを学びました。
村上牧場	冬の時期になると牛のエサにニンニクパウダーを入れるなどとても牛のことを思っていてすごいと思いました。
藤田牧場	指を小牛に出すとすごい力で吸われて初めて感じた不思議な感覚でした。
高野工業	ふだん当たり前に使っていた電気は皆様の日々の努力があってこそそのものだと思います。
農志塾	水とおしぼり運びの時に、お客様から「がんばってね」と一言もらった時にうれしい気持ちでいっぱいになり、こういう気持ちが仕事のやりがいにつながるということに気づくことができました。
ゆめあとむ	質問して一番びっくりしたのは「ゆめあとむ」を開店する前に11年も修行をしていたということです。
えびすや	一番難しかったのは生地を切って分ける作業でした。切る道具の持ち方や、力の入れ方などがとても難しかったです。
シンデレラ	店員さんのお客様に対する言葉遣いや、注意を払って対応するなどコミュニケーションの新しい取り方を学びました。

保育所	子どもたちとの信頼関係を築くことが大切ということがわかりました。そうすることで楽しく触れ合うことや注意するときにはしっかり注意できるのだと思いました。
せせらぎ荘	利用者とお話をさせていただいた時、「介護職は大変だけど、若い人が入って来てくれると嬉しいね。今、働いている方々には感謝しているんだよ。」と話していて、この仕事は色々な人に必要とされている仕事なんだと気づくことができました。
赤十字病院	一番心に残っているのは「リハビリ」です。体のケアだけでなく、患者とのコミュニケーションも上手で、すごく大変で難しい職業だと感じました。
御影診療所	病院で働くということは、万が一の事態に備えて、常に先のことを考えながら周りを見ろという一度にいくつものことをしなければならないということがわかりました。
フクハラ	仕事をするにあたって、チームワークが大切だと思いました。
食彩館	いつでも笑顔でお客様と接する難しさがとてもわかりました。
役場総務課	この職業では人事異動があり、各部署によって求められる技術が違うため、学び続ける姿勢が大切だと学びました。

実り多き見学旅行！

10月21日(月)～25日(金)、2年次生が九州・関西への見学旅行に行ってきました。今年も、昨年と同様、平和学習として長崎原爆資料館見学や被爆者による講話のほか、新たに佐賀の吉野ヶ里歴史公園や、日本最古の木造建築物である法隆寺を全体研修のコースに組み込みました。

コースの概要は次のとおりです。(＝飛行機、～フェリー、＝バス、・・・徒歩)

10/21 (月)	柏林台＝西帯広＝学校 芽室＝御影＝学校に分乗 学校＝＝＝新千歳空港—— 福岡空港＝＝＝吉野ヶ里遺跡＝＝＝(平和体験講話)長崎【ホテル泊】
10/22 (火)	ホテル・・・平和学習(原爆資料館:平和公園)・・・ホテル＝＝＝大浦天主堂・・・グラ バー園・・・(長崎市内自主研修)・・・駐車場集合＝＝＝新門司港～～～【船中泊】
10/23 (水)	～～泉大津港＝＝＝関西コース別研修・・・京都【ホテル泊】 Aコース:京都(伝統文化体験) Bコース:神戸(異国情緒体感) Cコース:USJ(現代文化堪能)
10/24 (木)	ホテル＝＝＝清水寺・・・関西自主研修・・・京都【ホテル泊】
10/25 (金)	ホテル＝＝東大寺＝＝法隆寺＝＝＝関西空港——新千歳空港＝＝＝学校 学校到着後 学校＝御影＝芽室 と 学校＝西帯広＝柏林台＝帯広駅に分乗

旅行中、前半は予想以上に気温が高く、後半は雨にあたりましたが、15の班の班長を中心に、時間や健康の管理などに気を付けてくれたおかげで、予定の行程を円滑に進めることができました。見学先のガイドさんや飛行機のCAさんをはじめ、お世話になった方々からも、整然と、そして説明に熱心に耳を傾ける本校生徒の学びの姿勢に、お褒めの言葉をいただきました。



【大浦天主堂】

清水高校の授業の魅力！その2

前号で本校の面白く、ためになる授業について掲載しましたが、今号では「評論研究」を紹介します。3年次の人文科学系列と自然科学系列に置かれている科目「評論研究」では、選択生徒31名が様々な題材で論理的かつ効果的な表現を学んでいます。10月30日(水)は、地域を題材にした単元で、「清水町の発展を考える」をテーマに調査・研究・発表した地



【データなどを元に発表する様子】

域活性化の提案のうち、生徒間で評価の高かった5名がプレゼンテーションソフトを使って発表していました。

清水町教育委員会三澤教育長や清水町役場企画課前田課長をはじめとする5名の町関係者にもご参観いただきました。発表の後の時間を利用して、それ以外にも興味深い提案を2つ、町関係者に説明してもらいました。発表者はもちろんですが、突然の指名にもきちんと説明できる本校生徒の成長を感じていただきました。

＜発表者の提案＞姉妹都市交流案、商店街活性化、うっちゃんランド、清水町再生のために、清水アスレチックパーク、＜説明した提案＞定額タクシー、買い物代行

本校では、こうした授業などを通して、論理的思考力や表現力、地域の一員である自覚を高めています。

清水幼稚園

園長 帰山孝美

【お年寄りといっしょに！！】

今年も、10月4日（金）に、さくら組10名で清水町デイサービスセンターを訪問しました。

初めは緊張の様子でしたが、歌を歌った頃には笑顔が自然に出るようになりました。“手あそび”“踊り”（やさい音頭、ぴかぴか音頭）を披露するころにはすっかり自分たちのペースになり、思いきり踊りを披露することができました。その後は、ふれあい遊びとして”肩たたき、握手でこんにちわをして“さくらさんとお年寄りが一緒に楽しみました。



音楽に合わせてお年寄りに肩たたきをすると、「声を掛け合ったりして取り組みました。緊張の中にも精いっぱい笑顔と、練習の成果をしっかりと披露できたひと時となりました。帰りには「とっても楽しかった」と口々にお話をしていました。

【高校生といっしょに！！】楽しみにしていた

さつまいもほりで10月11日（金）にばら組清水高校へ行ってきました。9時15分に出発して10時半頃に戻りました。ずいぶん前の事ですが、5月31日（金）と一緒に苗を植えて、高校生のお世話によりこの日を迎えました。子どもたちはじゃがいもよりも大



きいさつまいもにあらためて大喜びでした。高校生との交流はこのあと焼き芋（11月1日）をして、一緒に食べて活動が終了しました。こどもたちにとっては楽しい活動があり、思い出にも残りました。高校生にはあらため感謝でいっぱいです。

栽培・飼育活動として大根、芋、人参、枝豆 など清水高校の生徒さんにお手伝いをいただきながら育ててきました。野菜の草取りや水やりなど、年齢に応じた活動をすることで、苦手な野菜にも挑戦して、食べられるようになった子もいました。



第一保育所

未満児さんの成長

4月はお母さんと離れるのが寂しく泣いていた未満児クラス（0～2歳児クラス）も、入所して約7ヶ月がたち、とても成長した姿がみられるようになりました。身の回りの事を自分でしようと、手洗いをしたり、自分でスプーンを持って給食を食べたり…出来る事を少しずつ頑張り「自分でやる！」とはりきる姿も見られます。以上児と一緒に遊び、優しい関わりをしてくれる事が手本になり、自分より小さい子の手を引いて一緒に散歩したり、泣いている子の頭を撫でる姿も見られるようになりました。様々な年齢で関わる事が出来るのは、保育所ならではの環境なので、それを生かして今後も子どもたちの育ちを見守っていきたいと思います。

（保育士 森山 遥加）



動物園へ行こう♪

8月に予定していたバス遠足。悪天候の為、9月に延期となりました。今度こそ晴れますように・・・と子どもたちの願いは伝わり無事にバス遠足当日を迎えました！バスの中では、動物クイズやイントロクイズ・歌いながら楽しい時間を過ごし、あっという間に動物園に到着しました。各クラスで好きな動物を見に行き「大きいね～」、「かわいいね～」等と友だちとの会話を楽しみながら見ていました。頑張って歩き動物園を一周する事が出来たクラスもいましたよ！楽しみの一つでもあるお弁当の時間には、雨が降り出してきましたが、「おいしい♡」と嬉しそうに食べていた子どもたち。午後からは待ちに待った乗り物にも乗りました。観覧車やメリーゴーランド、汽車など思う存分楽しんでいましたよ。特に年長児クラスではコーヒークップが人気だったようです♪帰りのバスの中は、もちろんみんな夢の中でした。



(保育士 恩田 理加)

第二保育所

秋っておいしいね！！

春に植えた苗がすくすくと成長し、立派なかぼちゃが実りました！！子ども達は春からジョウロでの水やりや雑草取りを頑張ってくれ、「おおきくなあれ〜」「おいしくなあれ〜」と張り切って育ててきました。かぼちゃのお花が咲くと「(中実と) 同じ色だね！」と、実ることを楽しみにし、実が膨らんでくると「風船みたいー！」と、日々の観察を楽しみながらかぼちゃの成長を見守っていました。

4歳児(うさぎ組)さんが収穫を楽しみ、ずっしりとしたかぼちゃを両手で一生懸命運びました！！

収穫したかぼちゃは給食の先生の手により“かぼちゃコロケ”“かぼちゃ団子”などに変身し、給食の一品として出してもらいました。「保育所のかぼちゃだよ〜」と声を掛けると、すかさず「おいし〜！！」と喜んで食べる子ども達でした！！

保育所にある小さな畑で野菜を育てることで、お世話をすることへの興味や植物の変化への関心を生み、優しい心や学びの芽を育てていければ良いなという願いを込めて、これからも子ども達の豊かな成長に繋がる活動を行っていきたいと思います。

(保育士 古田 琴乃)



中学生が職場体験にやってきたよ！

10月31日の晴れた日に清水中学校2年生5名が職場体験に来所しました。はじめは照れていた中学生も、子どもたちに『お兄ちゃん先生・お姉ちゃん先生』と呼ばれて、周りに集まり遊びに誘われると、自然と笑顔になりたくさん遊んでくれました。若くて元気な中学生先生に、子どもたちは楽しくてた



まらない様子で、背中や膝にまとわり付いて遊んでいました。

その日は避難訓練もあり、消防車がやって来た事で子どもたちのテンションはマックスになり放水をする中学生の消防士さんの頑張りに拍手をしていました。

とてもハキハキとして、背筋がピンと伸びて受け答えもしっかりとした中学生の皆が、今回の職場体験での経験を活かして、未来の清水町で活躍してくれる日がくると良いですね。



(保育士 中口 輝美)

御影保育所

発表会、楽しかったね！

毎年子どもたちが楽しみにしている発表会。10月20日に無事に終わることが出来ました。

昨年まで3歳以上児クラスは縦割りクラスでの劇の発表でしたが、今年からは同年齢クラスで発表を行いました。それぞれのクラスで個性あふれる発表が見られ、良い発表会となりました。また発表会までの取り組みの中で友達の頑張りを認め合う姿が見られたり、難しいセリフを覚えようと努力している友達を自然にサポートしたりと、子どもたち同士での「育ちあい」がたくさん見られました。

ステージに立ち、衣装を着て発表することを楽しみにしている子どもたちでしたが、本番では緊張している子がほとんどでした。それでも今までの取り組み通り、自信をもって発表できている子どもたち。

これからたくさんの経験を通して、様々な表現の方法があることをこども園で知ってもらえるように遊びの中でもどんどん取り入れていきたいと思います。



練習風景

御影の秋、みい～つけた！

10月になると、こども園の周りの木々は色づき、秋が深まってきました。子どもたちは赤く色づいたもみじの葉やきのこ、大きな落ち葉を見つけると「ここにも秋、あったよ！」と喜んで教えてくれました。子どもたちがイメージする秋を聞いてみると、「カサカサなる(葉の音)」「色がきれい」「少し寒い」と感覚で捉えていることが多くありました。また五感がしっかり育っていることを嬉しく感じました。

年長児が1年を通して行っている活動「ひまわりのき」。季節ごとに子どもたちが御影で見つけた自然を絵で描いて1つの木にしています。この絵から見ると、木になる秋の果物や葉の色も赤いもみじや黄色のイチョウが見られます。ときどきどんな形が忘れてしまうと図

鑑で調べる子もいます。調べ学習は小学校へも繋がることですので、どんどん1年生に向けて自分たちで出来ることが増えてきて、楽しんで行ってほしいものです。

そして、毎年恒例！園長先生のご実家にお邪魔してリンゴ狩りをさせていただきました。自分で採ったリンゴを両親や兄弟と一緒に食べると喜んで持ち帰りました。と～っても美味しかったです！



年長児の「ひまわりの木」
赤く色づいています



こども園のもみじの木まで
ジャンプ！

(保育士 萩生田 彩)

教育委員会

子どもフォーラムに向けて

“しみず「教育の四季」子どもフォーラム”にむけ、12日（火）には清水中学校で“清水ミライ若者会議”を行いました。15日（金）には御影中学校で開催予定です。

26日（火）の子どもフォーラムでは、授業を通して生徒たちが考えた「知恵とあるもの探して まちづくり」について、グループワークをおこないCS 役員の皆さんに知恵を出していただきながら、実現に近づける提案にまとめ発表いただく予定です。



清水中学校 ミライ若者会議授業

(教育指導幹 福原 幸江)



しみず教育の四季

家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで

「12の窓」から感性あふれ、表情豊かな子を育てる

秋～心を染める色の中で 感性みずみずしく

<家庭・学校・地域今月の取組>

家庭は、TV消し、夕べの読書

学校は、静寂の

朝の読書で一日をスタート

地域は、図書館で

心ときめく本との出会い